

- 伐採・利用・植栽・保育という森林循環を促進するため、多摩産材の利用拡大、林道の開設・改良、森林資源の情報把握において、先端技術の活用等を進める。
- 島しょ地域の基幹産業である水産業の担い手を確保するため、新規就業者を雇用し指導を行う受入漁業者を支援するなど、水産業の担い手の確保・育成を行う。
- 島しょ地域では、水産資源の有効活用や販路拡大などを進め、多摩地域では、マス釣場や養殖場の整備・改修などを支援し、地域経済に寄与する水産業を振興する。

2 ブランド化と魅力の発信

- アシタバや東京ウド、トウキョウXなどのよう ＜江戸東京野菜の例(東京ウド)＞
に東京産農畜産物のブランド化、多摩産材の高品質化、特産品の開発などを推進し、東京産農林水産物の付加価値向上につなげる。
- トウキョウXや東京しゃもなどの東京ブランド畜産物の供給力を強化し、販売量を増加させることで、ブランドの確立につなげる。
- 多摩産材を使用したデザイン性の高い新製品を開発するほか、木材としての質の向上に取り組むことで、付加価値を更に高めるとともに、他道府県と連携して行うイベントにおいて、多摩産材の魅力を発信する。
- 東京 2020 大会会場等の整備や備品の調達における多摩産材の利用促進など、大会での東京産農林水産物の活用に向け、国際認証等の取得を支援する。
- 「東京味わいフェスタ」等の各種イベントや無料情報誌などで東京産農林水産物の魅力を国内外に発信する。
- 「とうきょう特産食材使用店」や「東京 島じまん食材使用店」の更なる拡大、農地の少ない市町村における学校給食での消費拡大など、安全・安心な東京産の農水産物の地産地消を一層促進する。



政策展開 3 多摩・島しょにおける観光振興

多摩・島しょ地域の豊かな自然等、魅力ある観光資源を活用したツアーの開発を促進するほか、観光案内機能を向上させるため、新たな観光情報センターの整備やICTの活用による情報発信を行う。また、多摩地域におけるMICEの開催を増やすための地域の取組を支援する。

1 魅力を生かした観光資源の創出と効果的な情報発信

- 森林や自然公園など豊かな自然や食、伝統・文化などの観光資源を活用し、